

趣 意 書

動物園には誰をも引きつける夢があります。野生動物とりわけ大型野生動物の生態を見ていると興味は尽きず、飽きることはありません。それ故に、多くの自治体が動物園を娯楽の場、憩いの場そして学びの場として整備を先導してきましたが、その数は民営を含めると全国で90箇所余に及んでおります。近隣県での設置状況を見ても、石川県、富山県、長野県、群馬県、福島県、宮城県、秋田県と山形県を除く全ての県で整備されています。しかし、新潟県には、かつて新発田市月岡にあった民営動物園が平成3年（1991年）に廃止されて以来、アルパカ等を飼育するいわゆる動物ふれあいファームが数カ所整備されているほか、動物園は存在しません。県外に出かけなくては動物園を見られないことは、県民にとり残念なことであり、とりわけ好奇心が旺盛で、向上心豊かな子供達にとって不幸なことではないでしょうか。南北に細長く、県土の広い本県にとって動物園を整備することは県民から世代を問わず支持されるものと思われま

す。近年、各地の動物園は、展示方法を工夫する等特色を出すことにより、遠隔地からの誘客に成功し、観光拠点として地域経済の活性化に貢献している例は少なくありません。こうしたことから、本県においても早急に整備を検討する必要があると思われま

す。なお、立地場所については、県人口のほぼ三分の一を有し、降雪が少なく、年間を通じて安定した来園者が見込める政令都市新潟市が最適であると思われま

す。又、事業主体は県と新潟市が整備を分担するとともに、県が管理する公営が望ましいと思われま

す。財政事情が厳しい折ではありますが、県民に夢を与え、未来を担う子供たちへのプレゼントとして、県・新潟市の真摯な検討をお願いするものです。

平成24年8月 日

にいがたに動物園をつくる会
会 長 坂 井 弘